



# 会津農林事務所農業振興普及部だより

Vol. 258 (平成27年12月10日発行)

編集・発行 ■ 会津農林事務所農業振興普及部

農業振興課 0242-29-5303

住 所 ■ 〒963-8501

地域農業推進課 29-5306

会津若松市追手町7-5

経営支援課 29-5307

HP ■ [www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/](http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/)

有機農業担当 29-5317

## 急募！！ 新たな園芸作物の担い手を求む！ まずは御相談ください

冬の始まりを迎え、来春からの作付に思いを巡らす方も多いのではないのでしょうか。

「転作として、米に代わる作物を導入したい。」  
「本格的な就農を考えているが、何を作付けしたら良いか迷っている。」・・・そんな方にオススメしているのが、トマトやアスパラガス、トルコギキョウといった園芸作物です。

農林事務所では、栽培技術や経営指標の資料提供のほか、パイプハウス等導入に活用できる補助事業等の紹介を行っていますので、ぜひ御相談ください！！

### 【アスパラガス】

春を代表する野菜、アスパラガス。特に会津の春アスパラは市場評価も高く、出荷量の増加が期待されています。露地栽培もできますが、安定的な生産と収益性を高めるためには、パイプハウスを活用した雨除け二期採り栽培が有利です。

### 【トマト】

会津の夏秋野菜の顔とも言えるトマト。安定的に収益を上げるためには一定水準の技術の習得が必要となりますが、選果場の整備や灌水・施肥作業の自動化が進んでいることなどから、導入しやすくなっています。

### 【トルコギキョウ】

会津地方を代表する収益性の高い花き品目であるトルコギキョウ。最近では市場評価の高い大輪系品種の作付拡大が望まれています。規模拡大を目指す栽培者も水管理等の労力が軽減される、自動灌水・施肥装置の導入も注目されています。

## 農業を楽しく！目標単収トマト20t/10aどり！！

松本義一さんは、ばんだいトマト栽培を始めて今年で4年目の期待の後継者です。猪苗代町で祖父の代から続くトマト生産者。現在はご両親と共に水稲との複合経営をしています。

実は、学生時代は農家を継ぐ気は全くなかったそうですが、社会人になり帰省の度に手伝っているうちに農業の面白さに気付き、平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所の事故が契機となり、この困難な時期を共に乗り切らなければという熱い思いで就農することを決めたそうです。

目標は「トマトの単収を毎年向上させ、最終的には20t/10aをとること」で、達成に向け栽培試験や勉強、視察など意欲的に知識や技術の習得を行っています。今後は、「地域の担い手が高齢化して



おり、耕作放棄地の増加を心配している。自分の地域の農地を自分で守るためにも、法人化も視野に入れて、楽しく農業を続けていきたい。」と抱負を語ってくれました。

# リンゴのヒメボクトウ防除

## ○会津地域の被害の現状

会津若松市を中心にヒメボクトウ被害が拡大し、樹勢の低下や枝の枯死が発生しています。ヒメボクトウは、幼虫が集団で枝幹内部に食入し、多くの虫糞と木屑を排出します（写真）。

写真のような被害が見られる場合は、早急に下記の対策を実施し、園内の害虫密度低下を図りましょう。



## ○ヒメボクトウ対策

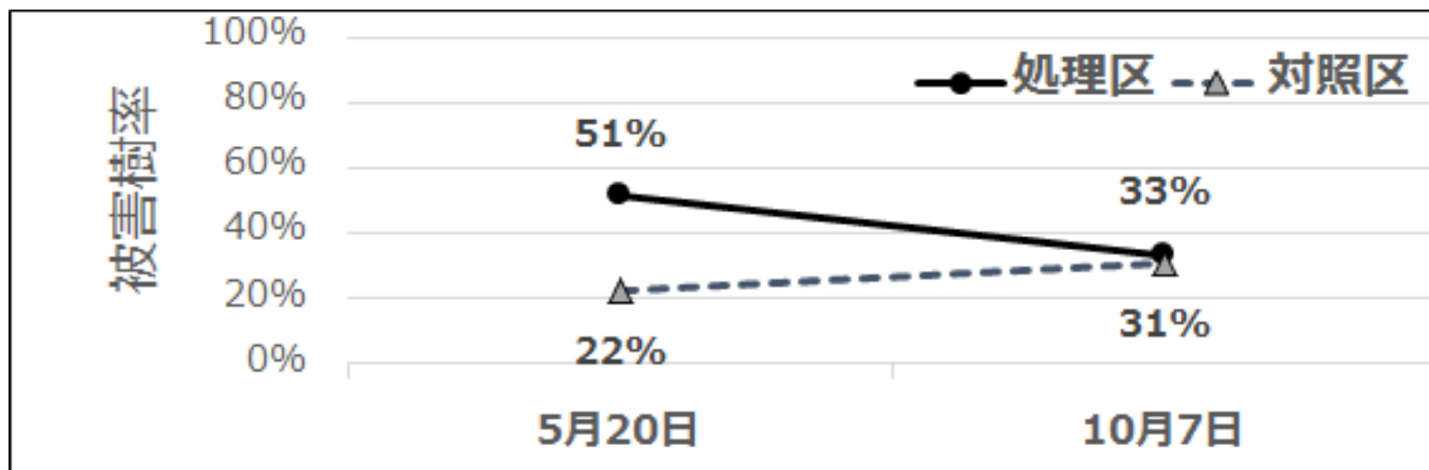
- ① 5月中～下旬頃及び9月中旬～10月上旬頃に、農薬名「バイオセーフ」2,500万頭／2.5～25L を虫糞排出孔から樹幹注入します（最高気温25℃以下の日が数日続く時に処理）。
- ② 6月中旬頃（成虫発生期前）にボクトウコンーHを100本／10aで設置します。  
※交信攪乱剤であるため、継続して広域的に使用することで効果が安定します。
- ③ 6月下旬～7月上旬（成虫発生初期頃）に、フェニックスフロアブル 4,000倍を枝幹部に薬液が十分にかかるように手散布します。
- ④ 1カ所の被害部位に幼虫が集団で寄生していることがあるため、収穫後、被害部位を切除し、適切に処分します。また、産卵防止を目的として、粗皮削りを実施します。

## ○ヒメボクトウ対策の効果

今年度、上記対策の①バイオセーフの効果を確認するため、会津若松市北会津町にて、下記の内容で試験を実施しました。

防除時期	防除対策	処理区	対照区
5/25,9/24	①バイオセーフ	○	×
6/25	②ボクトウコンーH	○	○
7/15	③フェニックスフロアブル	△	△
12月実施予定	④被害部位の切除、粗皮削り	—	—

○：実施する  
×：実施しない  
△：SSで散布



結果（上図）は、処理区で被害樹率が51%から33%に減少し、短期間で被害を減らすために、バイオセーフが効果的であることが確認されました。

**冬期に被害部位の切除や粗皮削りを実施し、次年度に薬剤防除を実施することで、被害を減らしましょう！**

# 太平物産株式会社からJAを通して供給された肥料について

太平物産株式会社が製造した肥料について、平成27年11月5日に同社がチラシや肥料袋に明示しているものとは異なる原料、配合割合で生産していたことが公表されました。現在、JAが当該肥料の回収等の対応をしています（回収対象肥料は全農のHPに掲載されております）。

同社の肥料は、その一部が「特別栽培農産物」、「有機農産物」等の栽培に使用されている実態があるため、当該肥料を使用して栽培した農産物を「特別栽培農産物」の表示をして販売した場合は、「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に適合しない可能性が、また、「有機農産物」の表示をして販売した場合は、JAS規格に適合しない可能性があります。このため、同社肥料を使用して栽培した農産物は、慣行栽培農産物として出荷・販売しなければならない場合があります。

また、環境保全型農業直接支払交付金の申請に際して、実施対象取組によっては、当該肥料を使用した場合、交付対象外となる可能性がありますので確認してください。

なお、不明な点等は、会津農林事務所農業振興普及部、お住まいの市町、またはJAにお問い合わせください。

## 穀類の出荷・販売前には、必ず放射性物質モニタリングの結果を確認してください

園芸品目（野菜・果物等）や穀類（大豆・小豆・そば・雑穀）は、放射性物質モニタリング検査（以下、モニタリング）を実施しており、この結果によって、その地区の農産物の出荷・販売が可能かどうかを判断しています。

園芸品目は市町村単位ですが、穀類は旧市町村単位のモニタリングを実施しています。

大豆や小豆、そば等を出荷・販売する農業者の皆様、または、その農産物を販売する業者の皆様、市場・直売所等の担当の皆様には、モニタリングの実施状況の情報により対象農産物が出荷可能な旧市町村であることをよく確認した上で出荷・販売するよう、協力をお願いします。また、不明な点は、会津農林事務所農業振興普及部（電話：0242-29-5306）まで連絡をお願いします。

福島県における農産物の放射性物質検査体制（主な違い）

平成27年11月30日現在

農産物の種類	米	大豆、そば、小豆 麦類等の穀類	野菜類・果実類
検査区分	全量全袋検査	モニタリング検査	モニタリング検査
検査単位	県内で生産された 全ての米 原則30kg/袋ごと	旧市町村（品目別）	市町村（品目別）
検査時期	出荷開始前	出荷開始前	原則として 出荷開始前から 出荷初期段階
NaI等による自主検査での販売	×	×	○ （主要品目以外）

※1 上表以外の品目（水産物、きのこ・山菜類、畜産物ほか）は、それぞれ別にモニタリング検査体制を取っています。

※2 大豆には、青豆（青大豆）、黒豆（黒大豆）なども含まれます。そばは、夏そばと秋そばに区分されます。

※3 米については、一部「地域の恵み安全対策協議会」が管理するフレコンバック等ごとの検査もあります。

※4 穀類の販売は、モニタリング結果の公表日（出荷可能と判断された日）以降となります。

# 農作業安全の6つのポイント

県内では、毎年10数件の農作業死亡事故が発生し、特に、高齢者の農作業事故が多発しています。今年度も県内で農作業死亡事故が続き、多発警報が発令されました。

農作業中の死亡事故は、本人の家族はもちろんのこと、地域農業にも大きな影響を与えます。事故ゼロを目指し、地域全体で「農作業安全の6つのポイント」を心がけた農作業を実施しましょう。

## 〈農作業安全の6つのポイント〉

- ① 作業に適した服装など身支度を整えましょう！
- ② 点検は安全作業の第一歩。機械の日常点検、定期点検を必ず行いましょう。
- ③ 安全フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト着用を徹底しましょう！
- ④ 走行時は路面状態や障害物、段差に注意しましょう。
- ⑤ 作業が終わったら、ほ場に出る前に左右ブレーキを連結しましょう。
- ⑥ こまめに休憩をとり、体調が悪いときには無理をしないようにしましょう。

## いよいよ降雪の時期に入りました！

### 冬越しのパイプハウスは補強を行い、雪害防止に努めましょう！

向こう3ヶ月の気象予報（11月25日発表）によると、12～2月は平年と同様に曇りや雨の日が多い予想となっています。大雪への備えは下記によりしっかり行いましょう。

#### 1 作業の安全確保

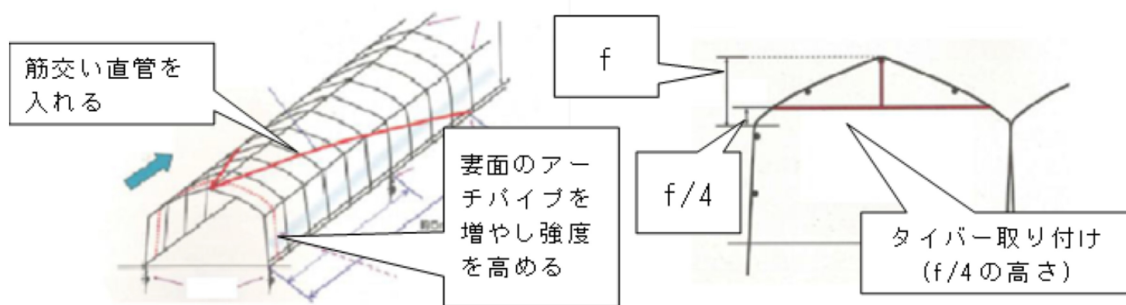
- (1) 降雪中の作業や除雪を行う場合は複数人数で！
- (2) ハウス内での火災や一酸化炭素中毒に注意！家庭用暖房機持ち込み時は長時間滞在しないようにしましょう。
- (3) ハウス倒壊に注意！屋根に積雪がある場合は施設内に入らないようにしましょう。
- (4) 除雪を行う場合はヘルメットと滑りにくい履物をはいて作業を行いましょう。

#### 2 パイプハウスの事前対策と対策事例

- (1) 冬期間使用しないハウスのビニルは、出来るだけ早く除去しましょう。
- (2) 屋根からの滑落促進のため突起物などの点検をしましょう。また、積雪による被覆資材のゆるみに注意し、杭やハウスバンドによる押さえを強化しましょう。
- (3) 屋根部の補強に、中柱等を設置しましょう（支柱の根元は沈まないようブロック設置）。
- (4) 除雪機の保守管理を済ませておきましょう。
- (5) 自分で行うことのできる対策事例

【筋交い直管による補強（耐力 20%程度向上）】

【タイバーによるハウス肩部の補強】



効果：妻面の奥行き方向へ倒れるのを防止  
・筋交い直管は、各アーチパイプと部品で固定し、下端部は地面に30cm以上埋込む

効果：ハウス肩部の強化  
・軒から棟の高さをfとすると、軒から上f/4の位置に取り付ける。

#### 3 除雪のポイント

- (1) 除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪しましょう。また、ハウスの片側だけの除雪は倒壊する恐れがあるため、両側から均等に除雪しましょう。
- (2) 古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪しましょう。また、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎましょう。
- (3) 暖房機が設置されている場合は、内部のカーテンを開放した上で、可能な範囲で室温を高め、屋根雪を滑落させましょう。